

科目名	知識工学 I Knowledge Engineering I			担当教員	白石 啓一		
学 年	5 年	学 期	前期	履修条件	選択	単位数	1
分 野	専門	授業形式	講義	科目番号	13C05_30911	単位区別	履修
学習目標	知識工学では、人工知能一人の知的な営みを機械によって処理する試み—の工学的側面を扱う。知識工学の基礎である探索・記号論理を習得し、例題を通して、応用問題へ柔軟に対応できる力を養う。						
進め方	教科書を基に各学習項目ごとの内容と例題の解説を行う。練習問題については課題とするので、各自自習しておくこと。適宜、練習問題・類題のレポート・小テストを課す。						
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	1.人工知能(2) 2.問題の表現(2) 3.問題解決プロセスの表現(2) 4.横型探索(4) 5.縦型探索(4)			人工知能とその歴史を知る。 D2:1,D4:1 状態遷移図の意味を理解する。 D2:1 AND－OR木を簡単な問題に利用できる。 D2:2 探索アルゴリズムを理解し、実際に状態空間中を探索できる。 D2:123			
	[前期中間試験](2)						
	6.試験問題の解答(2) 7.評価関数を用いた探索(4) 8.命題論理(4) 9.推論と論理的帰結(4)			評価関数を用いた探索アルゴリズムを理解する。 D2:12 命題論理式を適切に処理できる。 D2:12			
	前期末試験						
	10.試験問題の解答(2)						
評価方法	定期試験を 60%、レポート・発表回数または自主レポート・小テストを 40%の比率で評価する。						
履修要件	図や文字列の比較ができること。						
関連科目	知識工学 I (5 学年) → 知識工学 II (5 学年)						
教 材	教科書：太原育夫著「新人工知能の基礎知識」近代科学社						
備 考	知識工学Ⅱの履修には知識工学Ⅰの履修が必要。 オフィスアワー：毎月曜日放課後～17:00。メール等で予約することが望ましい。メールでの質問も内容によって受付可。						